

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②事業者情報

名称：	太陽の子 大谷口保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	藤川 由佳	定員(利用人数)：	100 名
所在地：	〒 336-0042 埼玉県さいたま市南区大谷口2319-1	TEL	048-712-0600

③評価実施期間

令和6年6月26日（契約日）～令和7年2月10日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

園の中長期計画が策定され、利用者満足と保育の質向上に取り組んでいる

園では中長期計画が策定されており、園運営や保育の質向上に向けた具体的な取り組みが行われている。毎年実施される保護者アンケートや行事後のアンケート結果をもとに、満足度の低い項目を翌年度の目標として反映させ、保護者の声を園運営に活かしている。また、職員間で検討した内容を園評価フォーマットや個人の目標設定シートに反映する仕組みが整備されており、保育内容の向上や保護者対応、行事運営の改善が進められている。中長期計画に基づく体系的な取り組みが園全体で共有され、実効性のある形で機能していることがわかる。

年間を通して活動するテーマを決め、子どもの知識や可能性を高めている

園では年度初めに年間を通して活動するテーマを決め、日々の保育や運動会、発表会などの集団活動にも取り入れている。今年の園テーマの「オリンピック」では、子どもたちに色々なスポーツを知ってもらおうとスポーツ企画を開催し、全3回、複数の種類（ダンス、剣道、バレーボール、バスケット、チアダンス、サッカー、陸上）の各スポーツに携わっている中学校、高校、大学の学生を中心に協力してもらい、競技の説明、発祥国紹介、ユニフォームを着ての実演、インタビュータイムなどの機会を設けている。インタビューの内容から子どもたちがそれをスポーツ図鑑にまとめる活動も取り入れている。来年度は保護者を巻き込んで色々な職業を知るというテーマで、保護者が園を身近に思ってもらえるような企画を考えている。

絵本の読み聞かせや貸し出しを通して絵本の楽しさを知る機会を設けている

絵本専門士の職員を中心に絵本の楽しさを知ってもらう取り組みを行っている。日々の読み聞かせとは別に、子どもたちには少しむずかしい本、図鑑などを絵本のコーナーで貸し出しを始めている。貸し出し絵本のノートに読んだ本の感想などを保護者に記入してもらい、職員からも回答するなど貸し出しを通しての保護者交流の機会にもつなげている。また、地域の方を招いておはなし会として絵本の読み聞かせを乳児と幼児を対象に毎月行っている。園見学の時には見学者にチラシを配布して保育時間以外の土曜日にあおぞらおはなし会を開催していることを伝えるなど地域との関わりや保育支援も大切にしている。

◇特にコメントを要する点

事業計画書が形式的で、園固有の課題や具体性の記述を願いたい

事業計画書が法人の形式的なフォーマットに留まっており、具体性や園固有の課題への対応が不十分である点が課題と思われる。数値的な計画は園児数、職員数、安全計画の一部に限られ、園の特有の状況やニーズに基づいた計画の策定がされていない。さらに、計画の推進においても、年度末に園長が計画書を変更して報告書として提出するレベルに留まっている点は、事業計画の実効性を欠く要因となっている。

子どもの生活と遊びを豊かにする環境整備に期待する

保育環境の整備に関しては、法人実施の研修で年齢ごとに研修を受け各クラス担任が知識を得て、クラス会議でクラスへの共有をしている。また、環境スケールを用いた観察を実施し、保育や環境についてのチェックを行うなど、通年保育環境を見直す機会を設けている。日々の保育では子どもたちの発達や興味に寄り添った保育を目指し、クラスごとに子どもの興味や関心に応じた環境設定に取り組んでいる。今後は更に0歳児など言葉で伝えられない子どもたちの気持ちをくみ取り工夫を重ねていくことを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

園の運営や保育内容など多くの内容を理解・調査頂き、その中で今の園の不足なところへのご指摘はこちらも再認識できる良い機会になりました。
その上で、第三者評価結果の項目で、多くの「a」という評価を頂き、運営側やスタッフ共々今までの保育に自信がつく結果となりました。
しかし、まだまだスタッフや利用者様への周知不足や、保育内容・園運営の方針内容にご指摘を受けたところもありますので、さらなる改善に努めてまいりたいと思います。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり